

**「第 2 期宇治市スポーツ推進計画」に基づく
令和 6 年度事業の進捗状況について**

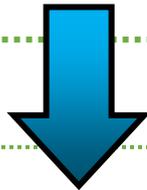
1. 「第2期宇治市スポーツ推進計画」の基本理念・施策の体系

① 計画の基本理念

スポーツで育む健康と地域の絆 FUN SPORTS PLUS

基本理念に込められた想い

市民一人ひとりが運動・スポーツをさまざまな形で「たのしみ」、心身ともに健康でいきいきと自分らしく暮らすとともに、一緒にスポーツを楽しむ仲間や、イベントをささえる団体や地元企業、ボランティア等と「つながる」ことで地域との絆や愛着を育み、新たな地域の魅力や施策の展開等、市内外への「ひろがり」へと拡大していきます。



推進の方向性

1. スポーツ を たのしむ
2. スポーツ が つなげる
3. スポーツ で ひろがる



② 施策の体系



※「第2期宇治市スポーツ推進計画」より抜粋



重点2
(1)

子育て・子育て環境の充実



子育てにやさしいまち
実現プロジェクト関連事業

84,486千円

まちのリビング創出促進事業

10,000千円

詳細
P.90

地域のつながり強化のための、市民活動を支援する講座や説明会等を実施

拡

未来をつくる食育推進事業

4,000千円

詳細
P.122

市民が主体となった食育活動を支援

つなげる・ひろがるスポーツ

振興事業

4,371千円

詳細
P.184

スポーツによる多世代交流の促進や運動機会を創出

拡

公園でつなぐ子育てにやさしい
まち創出事業

10,000千円

詳細
P.133

新

低年齢遊具の整備など、子ども達のより良い外遊び環境を充実

新婚・子育て世帯等住宅確保

おうえん事業

10,000千円

詳細
P.132

新婚、多子、三世帯同居・近居に対し、購入やリフォームなどの住宅確保を支援（空き家・エリア加算有）

新

子育てにやさしいまちステップアップ事業

300千円

詳細
P.85

全市域展開に向け、子どもの意見等を直接聞くなど、子育てにやさしいまちづくりの今後の方向性を検討



重点2
(4)

誰もが住みやすい地域共生社会

新

市民とつくる文化芸術の祭典

9,150千円

詳細
P.103

- ・文化センター開館40周年記念事業を開催
→「(仮称)40周年FES」を開催
高校生等の発表・交流の場の提供、宇治物産展の開催等
- ・文化芸術に関する体験型のワークショップやマルシェを開催



新

障害者文化芸術活動振興事業

800千円

詳細
P.110

市庁舎において障害者アートの展示スペースを常設し、市民が障害者アートにふれる機会を提供



拡

フライングディスクのまち宇治推進事業

700千円

詳細
P.104

市民スポーツまつりにおいて、フライングディスクミニ大会及びロングスロー大会を開催



2. 令和6年度の主なスポーツ推進施策

令和6年度における主なスポーツ推進施策として、以下のような事業に取り組んでいます。それぞれの実績から、課題について検証し次年度以降の取り組みに反映します。

① ニュースポーツひろば

たのしむ

つなげる

ひろがる

スポーツ推進施策の主要事業として、スポーツ実施率向上を目的に、誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツの実施機会を提供する「ニュースポーツひろば」を、市の運動公園(体育館)を会場とし年間・約30回実施しています。

また、体育振興会など各地域団体とも連携し、地域力×市スポーツ施策の相乗効果として、スポーツによる更なる地域活性化を図ります。



誰でも気軽にプレイすることができるニュースポーツ(ファミリーバドミントンやショートテニス、ラージボール卓球等)に加え、ワールドマスターズゲームズ2027 関西の種目、アルティメット(フライングディスク)や、新体力テスト項目の体験コーナーも実施しています。

【これまでの課題】

- 新規参加者数の伸び悩み
- 特に「子ども期」の参加者が少ない
- ファミリー層へのニュースポーツひろばの効果的な案内

令和6年度も令和5年度に引き続き、「親子でスポーツを楽しむ体験コーナー」(子育てにやさしいまち宇治推進事業)も積極的に実施します。

<実施事例及び案>

- 小学生向けの「体幹かけっこ教室」を整骨院から講師をお招きし実施(7/27 実施済)
- ダンス×英語でぐんぐん上達を促す特色ある英会話教室の体験コーナー(予定)
- 宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA事業「うーちゃ学校」とのコラボレーションで健康づくり×ニュースポーツを同時体験(予定)

- ニューススポーツひろば体験コーナー【体幹かけっこ教室】

市内運動公園にて実施されている「体幹かけっこ教室」の内容を、ニューススポーツひろば内の体験コーナーにて連携実施いたしました。参加の親子は、教室のあともニューススポーツひろば・設置コートにて、フライングディスクなど様々な種目に参加しました。

日 時:令和6年7月27日(土曜日)
会 場:西宇治体育館
対 象:小学生
参加者数:参加の小学生(計25名)とそのご家族含め、約50名
講 師:有限会社こじま のぞみ整骨院グループ 小川由智総括本部長
内 容:全身運動や専門的な用具を用いてのトレーニングで、「身体の使い方」を意識し、もっと速く走れるきっかけ作りとする。

- ニューススポーツひろば体験コーナー【親子で楽しむ英語でDANCE！】

親子一緒に本格的な英語の「音」を、「体」を使って英語のリズムでエクササイズをおこなう教室です。こちらも参加の親子は、教室のあともニューススポーツひろば・設置コートにて、フライングディスクなど様々な種目に参加可能です。

日 時:令和6年9月7日(土曜日) 会 場:黄檗体育館
日 時:令和6年9月28日(土曜日) 会 場:西宇治体育館
対 象:小学生
参加者数:参加の小学生(計25名)とそのご家族含め、約50名(5年度実績)
講 師:エネ英語部
内 容:英語のリズムに合わせてエクササイズを行うことで、英語とスポーツの両方を楽しんでもらう。

- ニューススポーツひろばInstagramの開始

ファミリー層向けのニューススポーツひろばの効果的な情報発信を行うため宇治市スポーツ推進委員協議会のInstagramのアカウントを作成しました。

ニューススポーツひろばの他、スポーツ推進委員の活動全般も発信しています。



② 第48回 宇治市障害者スポーツ大会 ～障害者スポーツフェスタ2024～

たのしむ

つなげる

ひろがる

市内全ての障害者が参加できる大会として「愛とふれあいの地域社会」をスローガンとして「障害者スポーツフェスタ2024」として開催することができました。

当日は、実行委員会の16協会・施設のうち10協会・施設、参加者・ボランティア等、計342名の方にご参加いただき、ボッチャ(ミニコート)やザル引き競走など、新種目を含む様々なスポーツを楽しんでいただきました。

日時:令和6年6月15日(土曜日)

会場:西宇治体育館 多目的アリーナ

主催:宇治市障害者スポーツ大会実行委員会

(宇治市身体障害者福祉協議会、市内各障害者福祉施設、宇治市、宇治市教育委員会)

参加者数:342名(参加者、ボランティア等含む)(昨年度比4施設121名の増)

内容:競技プログラム

ボッチャ(ミニコート)、ドッジビー投げ(アキュラシー)、宝くじ競走、ザル引き競走、紅白玉入れ



【実施後の課題】

- コロナ以降、参加できていない障害者団体(事業所等)への働きかけ

参加したくなる環境となるよう運営をさらに工夫し、また、より魅力ある内容を検討する必要がある。なお、令和5年度開催時(コロナ後初開催)より4施設の参加が増加となった。

③ フライングディスクのまち宇治推進事業

たのしむ

つなげる

ひろがる

2027年(令和9年)開催予定の「ワールドマスターズゲームズ2027 関西」に向け、フライングディスクの楽しさを体験できる機会を提供します。

ワールドマスターズゲームズ2027 関西において、宇治市内会場で実施予定のフライングディスク競技「アルティメット」は、フェアプレーを最重要視したセルフジャッジ制を導入する、広大なコートでディスクを操る「究極(Ultimate)」の競技です。

市主催事業「ニュースポーツひろば」や「市民スポーツまつり」はもちろん、各地域体育振興会等の協力を得て、市内各所で「フライングディスクのまち宇治」として、フライングディスクを活用したスポーツ・レクリエーションイベントが実施されています。

令和6年度については引き続き普及啓発のため講習会を開催するとともに、新たに市民スポーツまつりにおいて、フライングディスクのイベントを実施予定

内容(例):市主催事業等でのフライングディスク競技やフライングディスクを活用したスポーツレクリエーション事業の実施

小学校の先生へのフライングディスク講習会の開催(授業への組込を目的)

市立小学校や各団体等への宇治市普及版ディスクの配布や用具貸出



新採職員研修の様子



小中学校の先生向け講習会の様子



立命館宇治高校の授業の様子



アルティメット体験会の様子

【これまでの課題】

- フライングディスク「アルティメット」の認知度が低い
- ワールドマスターズゲームズの2027年開催に向けた計画的な事業展開

ワールドマスターズゲームズ及びアルティメット競技の認知度向上への取組を進めるとともに、市内連絡調整会議等で参加者・地域双方が楽しむことのできるワールドマスターズゲームズの2027年となるよう事業展開を検討していく。

④ つなげる・ひろがるスポーツ振興事業

たのしむ

つなげる

ひろがる

スポーツを通じた子育てにやさしいまちづくりを推進するため、地域の団体等と連携したスポーツによる多世代の交流や運動・スポーツの実施機会を創出します。市内運動公園等をフルに活用し、各事業に特色を持たせて実施します。

● 2024Uji こどもスポーツフェスタ

- 日 時:令和6年10月27日(日曜日)
会 場:西宇治公園
主 催:宇治市、(一財)宇治市スポーツ協会、(公財)宇治市公園公社、宇治市スポーツ少年団
規 模:(令和5年度参加者数)1,429名(延べ人数)
内 容:子どもたちに、スタンプラリー形式で多数のスポーツ種目を体験できる場を提供し、多様なスポーツに親しむきっかけをつくる。



● 多世代スポーツ交流フェスティバル ―スポーツに親しめる日―

- 日 時:令和6年12月1日(日曜日)
会 場:黄檗公園
主 催:宇治市、(公財)宇治市公園公社、(一財)宇治市スポーツ協会
規 模:(令和5年度参加者数)1,661名(延べ人数)
内 容:誰もが自由で気軽に多種目のスポーツを体験することでスポーツの魅力を感じてもらい、スポーツ人口の拡大と世代を超えた交流の機会を創出する。



● ニューススポーツひろば(3~4ページを参照)

● 第42回 市民スポーツまつり・太陽が丘スポーツカーニバル

日時:令和6年10月14日(月曜日・祝日)「スポーツの日」
 会場:京都府山城総合運動公園「太陽が丘」、木下アカデミー京都アイスアリーナ
 主催:宇治市、(公財)京都府公園公社、木下アカデミー京都アイスアリーナ
 規模:(平成30年度参加者数)16,000人(延べ人数)
 内容:新体力テスト(当日に体力プロフィールをお渡し)を目玉に、スポーツ・レクリエーション、健康ブースなどなど、各競技団体や地域団体、プロスポーツに至るまで多様な実施主体にて開催する。
 今年度より雨天でもスポーツに親しんでもらえるよう雨天時も実施案を検討中



- 【これまでの課題】
- 市全体の取り組みの方向性として、「子育てにやさしいまちの実現」に向けたスポーツの活用方法
 - スポーツ実施率向上においても、「子育て世代」へのアプローチは必須課題

スポーツによる多世代交流や宇治の魅力発見の機会を増やし、あらゆる世代におけるスポーツへの参加促進＝スポーツ実施率の向上を促します。

⑤ 都市間交流事業

たのしむ

つなげる

ひろがる

● 第29回宇部市・宇治市スポーツ交流大会

日時:令和6年11月16日(土曜日)～11月17日(日曜日)
 会場:宇部市
 主催:宇部市、(公財)宇部市体育協会、宇治市、(一財)宇治市スポーツ協会
 内容:京都国体でサッカー競技を宇治市で開催したことを契機に始まった。両市間のスポーツ交流大会。今回は野球にて交流を図る。

⑥ 宇治川マラソン大会

たのしむ

つなげる

ひろがる

スポーツ人口のすそ野を拡げ、生涯スポーツの振興を図り、また宇治の歴史・文化・風土・ホスピタリティー豊かな宇治の魅力を内外に発信するため、地域の団体等と連携し、宇治川の風光明媚なコースを走る宇治川マラソン大会を実施します。

日 時：令和 7 年 2 月下旬
会 場：太陽が丘
(令和 5 年度実績)
参加者数：1,436 名
ゲストランナー：安田美沙子
盛上イベント：茶そば、飴湯の接待
お楽しみ抽選会の再開



【これまでの課題】

- コロナの影響などにより落ち込んだ、参加者数の回復に向けた取組
- 単にマラソン大会を実施するだけでなく、ランナーや地域にとってより魅力的な大会となるよう、地域が一体となった機運醸成の仕掛けづくりが必要



より魅力的な大会となるよう、様々な機運醸成のアイデアを宇治川マラソン大会実行委員会や庁内連絡調整会議などで検討していく。

- うじウォーク ～宇治を楽しく歩いて健康になろう～
(うじスマートウェルネス推進事業)

「誰もが健康で暮らせるまちの実現」を目標に、宇治市民の「働き盛り世代」や「健康無関心層」が健康づくりに継続的に取り組むためのきっかけづくりとなる取組を実施されます。

本取組ではスマートフォン用ウォーキングアプリケーションを活用し、歩数や健康イベントの参加等により、宇治市独自のインセンティブを設けることで、健康づくりのための運動習慣の動機付けや行動変容を促すものです。

市民スポーツまつりもポイントとなっており、事業の相乗効果として運動の実施率の向上を目指すものとなっております。



- 五感で楽しむ古の文化講座 × プロスポーツ

紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一つである本講座において「KEMARI蹴鞠WORLD」を開催しました。伝統文化である蹴鞠を生涯スポーツという観点も含めて講座を開催しました。

また、紫にちなんで京都サンガF.C.とも連携し、PR動画の作成や当日の講座の盛り上げなど、文化とスポーツ双方に親しんで貰える講座を開催しました。



- その他(一部抜粋)

- ◇ 「ながら」防犯パトロール

日常生活を普段通りに送り「ながら」、防犯の視点を持ち地域や子どもを見守る、「ながら」防犯パトロールの取組を実施しています。

- ◇ 健康倶楽部

市内地域福祉センター等を会場に、週1~2回・全20回コースの高齢者の健康づくり教室。運動の継続と仲間づくりを目指す「はつらつトレーニング教室」や、トレーニングマシンを使つての「パワリハトレーニング教室」などを実施しています。